



秋も深まってまいりました。阿蘇のススキも穂が開いてきれいです。芸術の秋、スポーツの秋、そしてもちろん食欲の秋！皆さまはどんな秋を過ごされていますでしょうか。今月は、その3つを同時に楽しめるイベントを開催しました。まずそのご報告から。

11月8日からの1週間、畑でカフェを開きました。名づけて「こづみカフェ」。先月、地元のおじいちゃんに教えてもらいながら作った小積みが目印だからです。子供たちは広い畑で思い切り遊べ、楽しげな我が子を眺めながらおいしいコーヒーが飲める。そんな場所を作りたい、という思いがこの企画のきっかけ。だって、子育てが始まってから気づいたのですが、子供を連れてゆっくり入れるカフェってほとんどないんです。子供が何かを割ったりこぼしたりしないうちにさっさとコーヒーを飲んでしまわなきゃ。そんな感じで、ちっともゆっくりできない。子供たちにも、親にも楽しいカフェがあったらいいな、という思いが日頃から募っていました。見晴らしのいいO2Farmの畑に作られた、秋の風物詩・小積みを囲んで、いよいよ実現の時が来ました。



畑に作られたワラのピラミッドやワラのプール。息子たちは作っている最中から奇声をあげて遊んでいます。メニューにも趣向を凝らしました。お米とお肉はO2Farmのもの。玉子や野菜は地元のもの。レシピも自分たちで試作を重ねてつくったものです。米粉を使ったパンにあか牛ハンバーグをはさんだピタパンサンド。ご飯の上にあか牛のそぼろとトマト、レタス、チーズを乗せたタコライス。米粉で焼いたシフォンケーキやチョコレートケーキ。どれも好評でした。オープン初日は、平日なのであまり来ないだろうとタカをくくっていたら、なんといきなり20名近くのお客様。やった～！



このイベントの主催は、耕太が部長を務める「南阿蘇ランドアートクラブ」。村内の農家やアーティストたちがつくるサークルで、身近にある素材で楽しむ活動を続けています。写真のプロ、造形のプロ、パティスリーのセミプロ…。それぞれが思い思いの形で関わりながら、こづみカフェを盛り上げていきます。初日にカフェを訪れてくれた隣町に住む絵描きさんが、「ライブペインティングをしましょうか」と。



もちろん、お願いしました。「絵本作家さんが遊びにくるので、読み語りをしましょうか」とサークルのメンバー。こちらもちろんお願いしました。そんなこんなで、オープンから日に日に変化を続けたこづみカフェ。途中、2日ほど寒波に見舞われましたが、全体的にはお天気に恵まれ、もてなす私たちにも、訪れるお客さんにも満足のいくイベントとなりました。

話は前後しますが、10月下旬に2週間ほど私と子供たちで東京に帰省しました。帰省とはいっても今回は仕事三昧。今年は慶応大学のプロジェクトに「アドバイザー」という立場で関わっているのです。報酬はもらえませんが、旅費を出してもらえるので引き受けました。キャンパスが神奈川県湘南にあるため、学生たちとは海辺で集合。海風に吹かれながらパソコンを開き、研究の進み具合を報告してもらいます。その間子供たちは、というと…。ご覧の通りヌーディスト・ビーチになりました(笑)。秋風の中、寒いと思うのですが、楽しそうなので放っておきました。道行く人たちがギョッとしていたのがおかしかったです。



TPP (Trans Pacific Partnership) 問題で農林水産業界が騒がしくなっております。就農して8年目。まだまだ未熟者な私には、TPPが実際にどんな影響を及ぼすか予測が付きません。関税が撤廃されると農家が潰れる、というのが大方の意見ですが、日本の土や水や空気を守っている、という自負を持ち続けていれば、農家がもっと努力できることもあるように思っています。なぜこの価格なのか。その理由を消費者の皆さんにお届けする努力です。外国産の安い商品には決して負けない、おいしくて安全なお米を作ること。そしてどんな所でどんな風に、どんな思いで作られているかをお伝えすること。畑カフェも畑があってこそ、ワラのプールも稲が育ってこそ。微力ではありますが、私たちなりに努力を続けたいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。師走になると本当にめまぐるしく日々が過ぎるのが不思議。どうぞ皆さま、お体にお気をつけてお過ごし下さい。